

「もしものとき」は明日かもしれない 問い合わせ 総務課 情報防災グループ ☎ 27-2481



防災のページ

急傾斜地(がけ地)における相談などのサポート体制

神奈川県逗子市で昨年2月、道路に隣接する民有地斜面が雨が降っていないにもかかわらず崩落し、歩道の歩行者が土砂に巻き込まれ死亡する痛ましい事故が発生しました。これを受けて、国土交通省は専門家の調査結果を踏まえ、急傾斜地(がけ地)における留意事項などをまとめました。

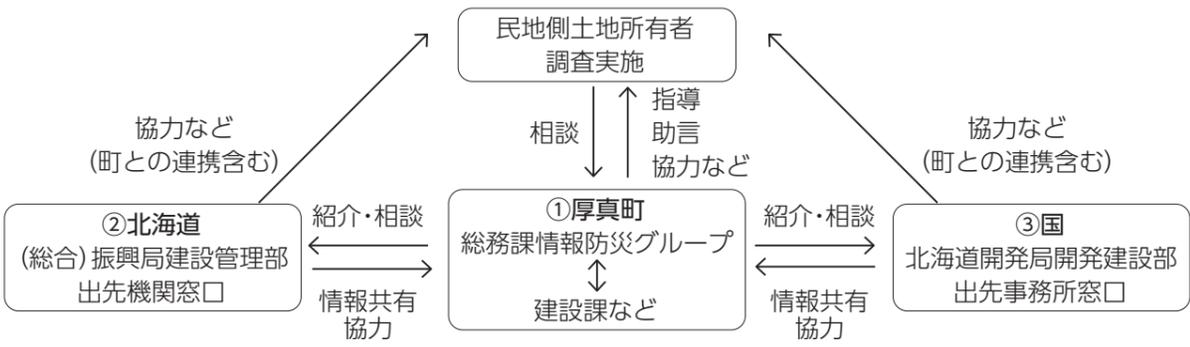
斜面は、地表の岩石が気温や雨水などの作用で、次第に破壊されて土や砂になる風化が進行し、雨が降っていない状況でも突然崩壊する危険性があります。



これらが確認される場合は、風化の進行で斜面が不安定になっている可能性があるため注意が必要です。植生が貧弱な場合には、風化が進みやすいため、特に注意が必要です。

変状がみられる場合は町に連絡

町では、急傾斜地崩壊危険区域等の住民から相談があった場合のサポート体制の構築を図っています。土地所有者からの相談などについて、組織的にきめ細かな対応を実施するとともに、各関係機関が情報を共有して危険箇所の状況を把握し、災害の未然防止を図ります。



番号	機関・部署名	係	連絡先	備考
①	厚真町総務課情報防災グループ	主幹	0145-27-2481	相談窓口
②	室蘭建設管理部苫小牧出張所	主査(管理調整)	0144-32-3171	施設保全室
②	室蘭建設管理部維持管理課	主査(河川管理)	0143-24-9871	用地管理室
③	室蘭開発建設部苫小牧河川事務所	上席治水専門官	0144-57-9861	直轄砂防施設管理者
③	室蘭開発建設部苫小牧河川事務所	治水専門官	0144-57-9861	直轄砂防施設管理者

- 【サポート体制に関する留意点】
- 町民からの相談窓口は、総務課情報防災グループです。ただし、直接施設管理者(②~③)へ連絡があった場合は、施設管理者から窓口へ情報共有を行います。
 - 土地所有者から相談があった場合は、関係する施設管理者に紹介・相談します。
 - 紹介・相談を受けた施設管理者は、土地所有者と連絡を取り状況に応じた対応を図るとともに、その結果について情報共有を図ります。
 - 施設管理者としての対応が困難な場合は、①町の窓口が緊急性等に応じて関係機関との調整を行います。

今月の担当



臨床心理士
すぎやま こうへい
杉山 効平

健康情報

一人一人がゲートキーパー
～身近な人が深刻な悩みを抱えていたら～

「これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことがありますか？」
この質問にどれくらいの方が手を挙げるでしょうか。厚生労働省が平成28年に実施した意識調査によると、5人に1人が「本気で自殺を考えたことがある」と回答しました。たとえ、「自身はそのようなことを考えたことは無くて、家族や友人の中に深刻な悩みを抱えている方がいるかもしれません。自殺はさまざまな要因によって追い込まれた末の死であり、「自殺以外の解決方法が考えられない」といった「こころの視野狭窄」の状態に陥っている場合があります。また、自殺を考えている人は何らかのサインを発していることが多く、そのために、発するサインに気づき、適切に対応することが大切です。

① 気づく

「ご家族や友人と過ごす中で、「眠れない日が続いているようだ」「お酒の量が増えたようだ」「食欲も無さ

そう」「元気がない日が続いている」と、普段の様子と比べて気になることはありませんか？背景にうつ病などのこころの健康問題が存在する可能性もあり、変化への気づきはとても重要です。「いつもと違う」と気が付いたら、「大丈夫？心配だよ」の声かけがその人を支える第一歩です。

② 話を聴く

悩みを打ち明けられたら、その人の苦痛を「それは大変だったね」と真剣に温かく受け止める姿勢で話を聴きましょう。「話を聴いてもらうだけで安心した」という方も多くいます。「世の中にはもっと大変な人がいるのよ」「これから生きていけば良いことあるよ」など、価値観を伝えたり、安易な励ましは避けましょう。また、「それだけ辛いことがあると、いつそのこと死んでしまいたいと考ええることはある？」と、死にたい気持ちの有無を確認することが大切です。

③ つなぐ

自殺の危険性がある方は、複数の仲間や機関で支えることが大切です。町には保健師・社会福祉士・臨床心理士

の資格を持つ職員がいます。自分だけで支えるのは難しいと感じた時は「つらそうだから相談してみたら？私で良かったら一緒に行くよ」と専門家になくことが大切です。

④ 見守る

普段と変わらない自然な雰囲気や声をかけましょう。期待どおりに回復しなかったり、逆戻りしているように見えても、「いつでも相談してね」と焦らずに声をかけながら、程よい距離感で見守っていきましょう。

ゲートキーパーの存在が重要です

今回紹介した内容は、「ゲートキーパー」の役割とされています。ゲートキーパーとは、こころに不調を抱えている人に気づき、適切に対応を図ることが出来る「命の門番」とも位置付けられる人のことです。悩んでいる人に寄り添い、孤立を防ぎ、支援を行うゲートキーパーの存在は、自殺予防策において大変重要です。ゲートキーパーには特別な資格は必要なく、町でもゲートキーパーの養成を計画しています。